

島根県消防学校だより vol.4

初任教育第53期（後期） **本格スタート!**

昨年11月15日に救急科第15期が修了し、翌16日から初任教育第53期（後期）7名の教育が本格的にスタートしました。夏場は熱中症対策で、あれやこれやの冷却作戦でしたが、冬場は打って変わり、しっかり着込んだ上にホッカイロと熱いお茶。猛暑も極寒も消防隊員にとっては、自然と向き合うこと自体が訓練です。7名という小人数に加え、寒い冬場の実科訓練で、縮こまってしまうのではないかと心配しましたが、さすが元気印の初任科生。寒さや少人数はなんのその。今日も元気な声が、北風と共に校庭に響きわたっています。行くぞ!お〜!!

初任科生（後期）のメンバー紹介



(写真左から)

石原、田本、宮崎、秦教官、勝部（総代）、池田（副総代）、青戸、黒崎

【秦教官】後期学生の期間中の12月～3月、松江市消防本部から支援教官としてお世話になる秦教官です。昨年度まで本校におられましたので、着任の翌日から即戦力として教壇に立って頂いております。お世話になります。

救助科第27期 入校～修了式

昨年11月26日から12月26日までの間、消防職員専科教育「救助科第27期」を実施しました。消防大学校の石原助教授には「安全管理（災害現場・訓練）・災害救助対策」、くるま総合研究会の相川講師には「交通救助対策」、ロープレスキューインストラクター藤原講師には「都市型救助資機材取扱」について、それぞれ講義していただきました。また、安来消防、松江消防、出雲消防で、現場の最前線で救助活動にあたっておられる救助隊の皆さんにも、直接指導をしていただきました。

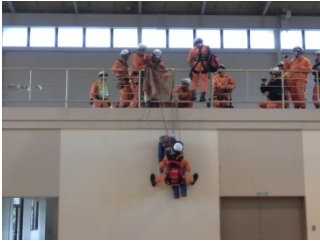
雪がちらつく寒い日もありましたが、逆にこれがリアルな厳しさとなり、学生にはよい訓練となったようです。当初はバラバラだった学生達も、樋口総代（雲南消防）のリーダーシップのもと最後にはまとまり、卒業時にはオレンジ服の後姿がとても逞しく見えました。



【後期初任科学生】所属は全員が松江市消防本部です。私たちは後期のスローガンを「朋友有信（ほうゆう ゆうしん）」に決め、それぞれ胸に刻みました。これは、お互いを信頼し合うという意味です。組織で活動する消防には、強い信頼関係は絶対に必要なことだと思います。7名と人数は少ないですが、その分お互いのことを理解し信頼しているため、団結力がとても強いと感じています。冬季の入校ということで、夏場では装着しているだけで汗をかいていた防火衣も、今では防寒具の一つになって着ているのが現状です。寒い冬も熱いハートで乗り越えて行きたいと思います。



鳥取県消防学校と合同訓練



昨年、初任科教育の際にも行いました、鳥取県消防学校との合同訓練を救助科でも実施しました。両校が同時期に「専科教育 救助科」を実施するという格好の機会でもあり、また、両校の校長同士、教官同士が旧知の間柄であったことから、話がトントン拍子に進み実施することになりました。それぞれの手技や訓練展示が主で、協同で訓練する形態はとれませんでした、他県のやり方を見ることや学生同士のふれ合いは、とてもよい刺激となったようです。

危険物科第14期 入校式

1月9日(木)消防職員専科教育「危険物科 第14期」の入校式を行いました。渡部校長は式辞で、福知山市の花火大会で起きた爆発火災を事例にあげ、今後の幅広い危険物行政の取り組みと職員教育の必要性について、学生に訓示しました。総代 大田学生(益田消防)、副総代 川田学生(松江消防)を中心に14名が一つになり、1月22日(水)の修了式に向け約2週間 勉強します。



違反是正事例研究会

1月17日(金)島根県消防長会主催の「違反是正事例研究会」を本校で開催いたしました。助言者には神戸消防局の岩本様と広島市消防局の杉本様、受講者は県下9本部から37名と入校中の危険物科学生14名で、会場の講堂がとても狭く感じる程でした。法令に立ち向かう情熱のなか、活発な意見交換が行われ、あっと言う間の4時間でした。受講した皆さんは、地域の安全安心のために、強力な違反是正を推進して行かなければならないと決意を新たにしました。



お知らせ

現在 実施中の校舎の補修工事ですが、当初2月末までの予定でしたが悪天候等のため、3月までずれ込むことが予想されております。ご迷惑をお掛けしますが、引き続きのご理解とご協力をお願いします。

新年度は校舎も化粧直ししますし、新車両(CD-I)も入りますので、ご期待ください。雪解けの春が、とても待ち遠しい今日この頃です。



編集後記(事務局より)

福澤諭吉翁は「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず。」ではじまる世界的名著『学問のすすめ』において「人学ばざれば智なし、智なき者は愚人なり。」と、学問と教育の重要性を説きました。言うまでもなく、人の人たる所以は教育にあります。教育によって人は造られます。

消防学校は英語でアカデミーと訳されます。これは各種の特殊な教育・訓練を行う教育施設を言い、米国のFBIアカデミーがその典型として有名です。消防学校の幹部科、救急科、救助科、危険物科、警防科など、どれも専門的で特殊な内容・カリキュラムで、どのような講義をされるのかとても興味深いものがあります。一般の行政職から見ると、このような専門教育の機会が与えられる皆さんをとても羨ましく思います。

島根県消防学校

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-157

E-mail: syobogako@pref.shimane.lg.jp

Tel: 0852-22-0166